



富山シニアバドミントン連盟

# 富山シニア バドミントン連盟 会報

第11号 平成30年3月1日

発行 富山シニア  
バドミントン連盟総務担当



## ごあいさつ

富山シニアバドミントン連盟  
会長 平澤良男

昨今の地球温暖化のせい、平成30年は年始めから強烈な寒気団と異様な暖かさが繰り返されています。特に今年は里雪型の豪雪ということで普段は雪の少ない氷見、伏木方面で雪害が目立っているようです。そんな中会員の皆様におかれましては、体調に気をつけられ元気にバドミントンに励んでおられることとお察しいたします。

平成30年は平昌冬季オリンピックが開催されました。日本選手のメダル獲得数も冬季オリンピック史上最高数ということです。表彰された選手あるいは入賞できなかった選手のインタビューを聞いてみると、ほぼ全ての選手が支援してくれた人々への感謝の気持ちを表していました。しかも、言われた感じはなく自分の意思で飾ることもないように感じます。やはり、最後は人間性が問われるものだと妙に関心している自分がいます。レベルは違いますが、我々も日々このような気持ちを忘れずバドミントンを続けて行きたいと改めて感じております。

さて、平成29年8月末に開催された「第10回おわらシニアオープン」は、北陸新幹線開通後3年目となり、首都圏、関東圏との人的交流が本物になってきたようです。結果的に、参加者600名程、延べで800名程となり、実施限界だった一昨年と同程度の規模になりました。運営方法については、まだまだ改善があるかと思いますが、次回に向けては更に頑張ってまいります。今年も懇親会は開催せずビアホール予約という形で懇談の場を用意しましたが、多くの参加者があり、まずまずの交流ができたのではないかと思います。

また、今年はシニア連盟の創立10周年ということで記念祝賀会を開催し、初代会長や石川シニア連盟の方々にも参加いただき盛会に催すことができました。ありがとうございました。これまでシニア連盟の一員として大会への参加や大会運営に関われたのも、会員の皆様のおかげであると感謝申し上げます。

来年度も、多くの皆様に大会に参加して頂けるよう、また楽しんで頂ける事を願っております。

平成30年2月

## ◇◇第17回交流団体戦◇◇

(平成29年4月9日(日): 新湊アイシン軽金属スポーツセンター)

第17回の交流団体戦は、シニア連盟の総会終了後に、会員99名が参加し、A・Bの2つのリーグに分かれて各リーグ4チーム(1チーム13~14名)の総当たり戦で、ゲームを行いました。種目は、男子複3、女子複1、混合複2の計6種目で実施しました。

優勝チームはAリーグ「C」チーム、Bリーグ「G」チームでした。



【昼食のお弁当】

◇ 第11回富山おわらシニアオープン大会の開催日決定！ ◇

平成30年度の「第11回富山おわらシニアオープン大会」は、平成30年8月25日(土)と26日(日)の2日間、富山市総合体育館(第1アリーナ及び第2アリーナ)での開催を予定しております。

今回も、昨年にも増してたくさんのシニア会員の方々に参加していただき、試合をとおして県内外の方たちとの懇親を深めてくださるようお願いいたします。

◇ 全国ねんりんバドミントン交流大会が 富山で開催されます ◇

参加フリーです。奮って参加ください！

平成30年10月22日(月)～23日(火) : 富山市総合体育館

種目: 60歳以上の部・65歳以上の部・70歳以上の部・75歳以上の部 があり、  
各種目とも 男子複・女子複・混合複の3複での団体戦 となります。

◇◇第10回富山おわらシニアオープンバドミントン大会◇◇

昨年8月26日(土)～27日(日)の2日間に亘り、富山市総合体育館において「第10回富山おわらシニアオープン大会」を開催いたしました。

全国各地から延べ918名(実人数601名:男女複508名、混合複410名)の参加を得ました。今回も80歳以上の部を開催したところ、男子4組、女子6組、混合8組の参加を得ることができました。

次回も、より充実した大会にしていきたいと思っておりますので、たくさんの方が参加くださいますよう、よろしく願いいたします。

【10回記念参加賞】



【開会式】



【競技風景】

記念Tシャツ  
着用



【選手宣誓】

今回は、70歳混合複のおふたりをお願いしました。

平成29年8月26日

選手代表 宮城県 斉藤 勝さん  
愛知県 山本 しず子さん



◇◇第7回夏季大会(個人戦)◇◇

(平成29年7月9日(日)):

新湊アイシン軽金属スポーツセンター)

7回目となる夏季大会は、男子複、女子複を年齢の区分によらず、ランク別にそれぞれ1部から3部までに分けて、個人戦により実施しました。

69名の参加がありました。

【女子3部優勝: 北村・横沢組】



◇◇第7回冬季大会(団体戦)◇◇

【優勝 Aチーム】

(平成29年12月10日(日)): 新湊アイシン軽金属スポーツセンター)

第7回冬季大会は、参加者がA、Bの2つのリーグに分かれてのリーグ戦の後、リーグ順位別に順位決定戦を行い、94名の参加がありました。試合は、男子複4、女子複2、混合複2の8種目で実施しました。

## ◇クラブ紹介「たっちゃんふぁみり〜」◇ 脇 博樹

「たっちゃんふぁみり〜」は、2002年創部の毎週火曜・金曜19時30分～21時30分高岡市志貴野中の体育館で活動しているクラブです。週2で物足りない一部のメンバーはさらに毎週木曜20時～22時氷見市窪小でも練習しています。クラブ員は時々参加の人を含め20人ほどで、そのうちシニアメンバーが5人です。

私（脇）が現役のクラブ員では最年長で個人的には羽龍の所属でシニア連盟に会員登録させて頂いていたのですが、シニアメンバーが増えたこともあり今年から「たっちゃんふぁみり〜」として加盟させて頂くことになりました。連盟の皆さんには今後ともよろしくお願ひします。

「たっちゃんふぁみり〜」とゆるゆるな不思議なネーミングですが、創立者の「たっちゃん」がふぁみり〜的な仲のいいクラブ運営を目指し名付けたそうです。実際現在も下は男女中学生、男子高校生の若手から上は私まで、また学生時代から現在までバドミントンを継続してきた上級クラスから長期ブランクがありたまたま再開した私のような初中級クラスまで、本当に和気あいあいとバドミントンを楽しんでします。

シニアメンバー一同としては、今後またっちゃんふぁみり〜のクラブ員のシニアデビューが後に続くようにバドミントンを楽しんで継続していきたいと思ひます。



※メンバー5人の写真は、昨年の冬季交流の時に撮影したものです。

## ◇創立10周年を迎えて◇ 富山シニア連盟理事長 朴木政司

富山シニアバドミントン連盟は、今年度、創立10周年を迎えることができました。これもひとえに会員のみなさまのおかげと役員一同深く感謝しております。創立10周年を記念して、昨年10月28日（土）に富山地鉄ホテル「アルシェフ」において、10周年を祝う会を催しました。祝う会には、初代会長の佐伯清明様、石川シニアから水上紘宇様ほか4名を来賓としてお迎えし、富山シニア 平澤会長以下52名の会員が出席して盛大に執り行うことができました。

祝う会では、まず、平澤会長の挨拶の後、佐伯清明初代会長と石川シニアの水上紘宇様からお祝いのお言葉をいただきました。そのあと、長年富山シニア連盟の役員としてご苦勞いただいた小林副会長と谷常任理事にこれまでの感謝の意を表し、感謝状と記念品を授与いたしました。

また、ヨネックス株式会社からは祝電をいただきました。

富山シニアバドミントン連盟は、2007（平成19）年9月24日 射水市小杉総合スポーツセンターにおいて、初代佐伯会長以下50名で設立総会を開催し、スタートしております。

連盟登録者数は、114名で活動を始めました。50歳以上のシニア層のバドミントン向上と交流を目的に交流大会とおわらオープン大会を開催してきました。

当時は、お互いに名前も良くわからず馴染めないところがありましたが、少しずつお互いの名前や顔も覚えるうちに楽しい交流会になってきました。とりわけ、おわらオープン大会では県外選手との試合を通しての交流ができ、県内のシニア層のバドミントン向上に大きな成果を得ることができております。10年間があつという間に過ぎた感じがします。

今後ともシニア層の交流がますます深まり、富山県のバドミントン発展に貢献できるよう活動を進めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。



【佐伯初代会長の挨拶】

## ◇全日本シニア大会に参加して◇ 土曜会 源通直樹

12月10日冬季シニア交流バドミントン大会に参加した。その際に、朴木さんより今年石川県で開催（11月18～20日）された全日本シニアバドミントン大会の戦記を依頼された。私は土曜会（20名）に所属しており、週2回（木・土）の練習環境はかなり充実したクラブです。最年長の重鎮大野幸雄さんもコートに入られ、健在です。



全日本シニアバドミントン大会は30歳～80歳の5歳刻み（男女単・男女複・混合）での個人戦です。選手及び関係者総勢4000名、全てトーナメント方式で、石川県全域の体育館での開催となる。全国の65～70歳のバド好き強者が津幡町運動公園体育館に集まり、男子ダブルス76チーム参戦。土曜会からは、65歳の部に5名参加、結果は、全員ベスト8（男単・男複・混合）に入った。私はパートナーの坂本さんと高岡インター近くのコンビニで合流！津幡町運動公園へ。坂本さんの車に大野さんも同乗されておられ、3日間応援にきて頂いた。先ずはアリーナへ！8面で明るく天井の高さも普通で、目に優しく、良い印象を感じた。初日は男・女ダブルスが交互にタイムテーブルされ、私達はシードされて初戦は11時だった。初戦の相手は愛知の岸・園部組、岸さんは、琵琶湖西岸に自前のバドミントン専用体育館（1面）を持つほどのバド好き!!練習なし、即シャトルを渡され、試打2球で試合開始。岸さんサウスポー、園部さんウエスタングリップで双方癖玉、なんと1ゲーム取られた。2、3ゲーム奪い返して薄氷の勝利!!後日の話、土曜会の忘年会で、大野さんは冒頭挨拶で帰ろうかと思ったとのこと。初戦の緊張もとれ2試合目（東京）、3試合目（埼玉）は好調な試合運び。驚いたのはベスト16からシャトルがトーナメントになっていたことだ。質感が全く違い気持ちよくプレー出来た。一日目最終となる4試合目は、いよいよベスト4入りを賭けた試合だ。何と!!去年、一昨年と2連覇中の石川県のペアが棄権で、勝ち上がってきた兵庫のペアに勝利、ベスト4（3位以内確定）。最終日8会場での各年代ベスト4が、第1会場（いしかわ総合スポーツセンター）に集結です。待機コールがあり、待機場の目の前で45歳の女子シングルス準決勝を見ていたが、凄いですね。試合のコールがあり、サブアリーナへ向った。対戦するのは、北海道と宮城県のペアです。今年の仙台七夕オープン優勝チームである。ちなみに2位、3位もベスト4に入っている(驚き)。1ゲーム目21-19で逆転勝ち、2ゲーム目は11-17からの大逆転23-21、内容は全く記憶無し、とにかく2-0で勝利。終盤は息たえだえ無酸素状態。もう疲労で続けて出来ない状態だった。決勝は、青山（愛知）・浅見（東京）ペアで、青山さんとは去年八王子でのペアの間柄。青山さんは、シングルの決勝戦が先に行われ、見事2連覇！私は1時間以上休息出来た。いよいよ決勝戦、1ゲーム目は元気があり21-13で取った。しかし2ゲーム目、相手が戦術を変えてきたのだ。クリアー主体!!しかも体力に劣る私にシャトルが集中10-21で撃沈。ファイナルが始まる前かな、高岡サンライフでの練習仲間の浅野さん・竹本さんが、足にシップを施して頂いた。有り難かった。コーチ席での死んでも頑張れの励ましの甲斐なく17-21で撃沈。試合終了後16面のコートを見渡すと、今大会、全種目で最後の試合でした。信頼できるベストパートナー坂本さん今大会有り難う。大野さんには3日間応援して頂き、又土曜会の皆さんにも応援して頂き有り難うございました。

## □□ 平成30年度 富山シニア連盟 大会日程（予定） □□

平成30年度の大会予定日程は以下のとおりです。みなさんの参加をお待ちしております。

富山シニア総会・交流団体戦	平成30年4月 8日（日）：新湊アイシン軽金属スポーツセンター
第8回夏季大会	平成30年6月24日（日）：新湊アイシン軽金属スポーツセンター
第11回富山おわらシニアオープン大会	平成30年8月25日（土）26日（日）：富山市総合体育館
第8回冬季大会	平成30年12月16日（日）：新湊アイシン軽金属スポーツセンター

## ◇◇富山シニアバドミントン連盟のホームページに大会情報を掲載しています！◇◇

富山シニアバドミントン連盟ホームページアドレス：  
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~toyama-sinia-bad/index.html>